

とくしまビジネス リスキリング スクール2025



徳島大学
TOKUSHIMA UNIVERSITY

CONTENTS

リスクリグとは？

「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に対応するために必要なスキルを獲得する/させること」をいいます。

本学の講座では、経営者や一般社員のスキルアップを経済産業省の取り組みとしてすすめるエンゲージメントや技術、ビジネス、DX、AIなどさまざまな分野でのリスクリグを行います。

(出典「リスクリグとはーDX時代の人材戦略と世界の潮流ー」)

講座4 労務管理のためのビジネスコミュニケーション講座

この講座では、人的資本経営の中核をなす組織風土の醸成に必要な心理的安全性の高い組織を目指し、メンタルヘルス不調の防止につなげていくことだけではなく、企業内の相談対応を含めたコミュニケーション力などの対人関係スキルを高めることによりエンゲージメントや生産性の向上につなげていくことを目指す。

講座6 次世代リーダー育成とTPS実践のための生産管理講座

この講座は前半でTPS（トヨタ生産方式）の生産管理実践方法を学び、後半では経営において目的達成に欠かせない組織のマネジメントを学ぶ。TPSの基本概念、標準作業の定義と役割、標準作業の作り方と使い方を実物で学ぶ。現状を調査し改善のポイントと改善ステップの手順を説明する。また経営の観点から顧客の信頼を得る製品やサービス作りに大切なマネジメントについて、戦略、チーム力、労務管理、リーダーシップ、品質保証、職場風土の改善などを学ぶ。

講座7 海外ビジネスと商品企画・開発のためのマーケティング講座

マーケティングは、営利・非営利などの組織形態、製造業やサービス業などの業種、また企業規模の大小を問わず、組織が市場や社会と良好な関係を築くために重要な役割を果たす活動である。はじめに、海外ビジネスを展開するためのポイントを、実際に海外で販路拡大を実現した企業の事例から学ぶ。次に、企業がマーケティングを実践する際に基礎となる知識を習得するとともに、事例研究を通じてその実践方法や自社への適用方法についての理解を深めることを目指す。

講座9 建設インフラDX講座ーGISとBIM/CIMー

この講座では、GISとBIM/CIMの基礎知識を学ぶとともに、スマートシティへの展開も含めた最新事例の紹介を行う。加えて、GISソフトを用いた簡単なデータ処理に関する演習、歴史地理学へのGISの応用事例の紹介も行う。また、点群等の3次元モデル（BIM/CIM）の処理、取扱について演習を行う。

講座11 Raspberry Piを使って学ぶロボットプログラミング講座

ロボットの基礎技術であるモーションコントロールの概要とその要素技術として基本的なアクチュエータとセンサについて解説する。また、安価な小型コンピュータを利用したロボット制御実習を通してロボットの制御プログラム製作の実習を行う。さらに、ロボットの導入が加速している介護・福祉分野や農業分野におけるロボット開発事例についても紹介する。

講座12 基礎から始めるAIエンジニア育成講座

2022年から生成AIが、一般のサービスとして広く利用できるようになっている。生成AIの技術、応用可能性は、我々の社会を大きく変えようとしている。生成AIをどのように活用できるかが、これからの社会人あるいは企業・組織としての成功に、きわめて重要となるだろう。この講座では、生成AIの中核となる画像認識・言語生成の仕組みを学ぶとともに、生成AIをより発展的に応用するための技術を基礎から学ぶ。

講座1 エンゲージメントマネジメント講座

この講座では、エンゲージメントマネジメントについて学習する。「エンゲージメント」とは、経営者と社員との「相思相愛」の関係性であると考えられる。エンゲージメントを高めるための方策について、理論と実務の両面から実践的に学ぶ。異業種交流によるディスカッションを通じて、新たな視点とつながりを創出することができる。徳島大学総合科学部の学生も共に学ぶ機会を提供する。

講座2 人を大切にする経営学講座

この講座では、人を大切にする経営について習得する。「人を大切にする経営」とは、社員とその家族、協力会社とその家族、顧客、地域社会、株主という5人の関係者の幸せを実現する「五方良し」の経営である。人を大切にする経営を始めるためには、経営理念で表現された社会的な使命を、全社で一丸となって実現しようとする職場づくりを進めなければならない。この講座は、講義、ケーススタディ、ディスカッションとベンチマーク視察により、人を大切にする会社をどうやってつくるのか？実践する企業の事例とともに学習する。

講座3 人的資本経営を深化させるマーケティング戦略講座

マーケティングとは、顧客の課題・ニーズを的確に把握し、商品、サービスを提供するという事業であり、企業活動そのものである。このため、マーケティング戦略の構築は非常に重要である。この講座では、これまでのマーケティングとは異なり、「個」を活かすマーケティング戦略のあり方について学習する。講義では、マーケティング論について習得し、人を活かすマーケティングの可能性について、ケーススタディを通じて実践的に学ぶ。さらに、ディスカッションにより、習得したものを自社に落とし込む方策を考える。

講座5 基礎と実践スキルを学ぶDX入門講座

DX（デジタル・トランスフォーメーション）は、企業の日常業務から生産現場、経営に至るまで、直面する人手不足やビジネス環境の激変等の課題に対して、デジタル技術を活用してビジネスを変革し、競争優位を高める。この講座では身近な業務からスタートできる企業DX推進の総論、データやAIの業務への具体的な活用法を学ぶとともに、製造業のアナログ・アナログ+デジタル運営をIT化（DX）で全てデジタル化し未来型の製造業へ構造転換する取り組みを紹介する。また全社でDX化を達成しさらに進化を続ける企業のデジタル情報システムについて紹介する。

講座8 光による先端センシング・画像計測技術講座

この講座は発展を続ける光によるセンシング・画像計測を紹介する。内容は、可視～近赤外線画像計測による異物検査、AIを用いた異物検査システム、非線形光学顕微鏡による生体計測、THz波による計測、超高感度センシング・イメージング技術と多岐に渡り、実用化に向けたステージは異なるが、光の性質や、物質の光に対する振る舞いをうまく利用して、測定対象物から捉えたい情報を得るという考え方は共通しており、光技術の今後の発展も見据えた内容になっている。

講座10 ゼロから学び仕事に活かせる3D-CAD講座

3D-CADの基本的な知識と実際のCADソフトウェア（Autodesk Fusion）を用いた様々なモデリング、アセンブルの方法を学習するとともに、モデリングデータを活用した構造解析を解説する。また、3Dプリンタについての基本原理とCADデータを用いた製作方法についても学ぶ。さらに、レンダリングやアニメーション等の様々な機能についても紹介する。そして、具体的な物体を用いたモデリングおよび3Dプリンタによる製作実習を行うことで部品・製品のデジタル化を体験する。

講座13 優良企業の知恵を現地で学ぶベンチマーク視察

本学で実施しているベンチマーク視察には、企業の幹部や将来幹部候補となる社員が参加している。受講生はさまざまな企業を訪問し、ものづくりの工程や技術だけでなく、企業の理念や働く社員の姿勢も見学する。今回のベンチマーク視察では、西精工株式会社土成第一工場と株式会社日新 四国工場を見学する。まず総務・人事担当者、工場担当者から講演を受け、その後、工場見学を行う。訪問企業の優れたものづくり技術や人材育成の取り組み、さらにはSDGsへの対応について学び、その知識を自社にどのように活かすかについて提案する。

令和7年度

「とくしまビジネスリスティングスクール」講座一覧

開講式 / 令和7年7月 4日（金）13:00～13:30

修了式 / 令和8年3月18日（水）13:30～14:30

1. エンゲージメントマネジメント講座

13:00～17:00

21.5時間

7月 4日（金）	1. いい会社になるための100の指標 経営理念の成文化と社内への浸透 (13:30～17:30)	人を大切にする経営学会 (株)高橋ふとん店 徳島大学	坂本 光 司 高橋 武 良 段 野 聡 子
7月28日（月）	2. エンゲージメントマネジメントによる社員定着率100%「奇跡の会社」 エンゲージメント向上と社会保障制度	(株)障がい者つくし更生会 徳島大学	那波和夫 段野聡子
9月 5日（金）	3. 人生の素晴らしさを分かち合う経営を目指して 寄り添いの経営	ユニコム（株） 徳武産業（株）	藤原康雄 十河孝男
10月20日（月）	4. ベンチマーク視察	鷹取醤油（株） 伊知建興業（株）	
11月13日（木）	5. ベンチマーク視察の学びについての振り返り、成果発表（10:00～17:00）	人を大切にする経営学会 (株)高橋ふとん店 徳島大学	坂本 光 司 高橋 武 良 段 野 聡 子

2. 人を大切にする経営学講座

人を大切にする経営学会 後援

13:00～17:00

21.5時間

10月 6日（月）	1. 時代が求める企業経営のあり方・進め方	人を大切にする経営学会 (株)高橋ふとん店 徳島大学	坂本 光 司 高橋 武 良 段 野 聡 子
11月28日（金）	2. 人を大切にする経営	伊那食品工業（株） (株)シケン	井上 修 島 隆寛
12月 5日（金）	3. ベンチマーク視察	(株)八天堂	
1月29日（木）	4. 萩原工業の人を大切にする経営 衣料から医療への挑戦「下町ロケット2～"リアル"ガウディ計画～」	萩原工業（株） 福井経編興業（株）	浅野和志 高木義秀
2月12日（木）	5. ベンチマーク視察の学びについての振り返り、成果発表（10:00～17:00）	人を大切にする経営学会 (株)高橋ふとん店 徳島大学	坂本 光 司 高橋 武 良 段 野 聡 子

3. 人的資本経営を深化させるマーケティング戦略講座

13:00～17:00

21.5時間

NEW

8月25日（月）	1. モノづくりは人づくり	GPコンサルティング（株） 西精工（株）	森 卓史 西 泰宏
9月12日（金）	2. 事業承継による経営戦略の変化	GPコンサルティング（株） 税理士法人ひとざい	森 卓史 瀬嶋宏典
10月27日（月）	3. 自社の市場分析と成長戦略の構築	GPコンサルティング（株） (株)シケン	森 卓史 島 隆寛
11月17日（月）	4. 環境変化による戦略の選択	GPコンサルティング（株） (株)イマデヤ	森 卓史 今出貴士
12月12日（金）	5. 学びについての振り返り、成果発表（10:00～17:00）	GPコンサルティング（株） 徳島大学	森 卓史 段野聡子

4. 労務管理のためのビジネスコミュニケーション講座

13:00～17:00

21.5時間

NEW

10月 9日（木）	1. 心理的安全性を高める組織づくり	(株)カムラック GCOキャリア・カウンセリング事務所	賀村 研 尾形隆平
11月14日（金）	2. 組織づくりに活かすコミュニケーション	GCOキャリア・カウンセリング事務所	尾形隆平
12月19日（金）	3. 人を大切にするためのコミュニケーション（1）	GCOキャリア・カウンセリング事務所	尾形隆平
1月30日（金）	4. 人を大切にするためのコミュニケーション（2）	GCOキャリア・カウンセリング事務所	尾形隆平
2月20日（金）	5. 人を大切にするためのセルフケア（10:00～17:00）	徳島大学 GCOキャリア・カウンセリング事務所	甲田宗良 尾形隆平

5. 基礎と実践スキルを学ぶDX入門講座

13:30～16:30

18時間

NEW

7月 4日（金）	1. ゼロから学ぶ企業DXと社内での推進方法	モバイルコンピューティング 推進コンソーシアム	竹井俊文
7月11日（金）	2. AIによる文書管理	徳島大学	石田基広
7月18日（金）	3. 業務分析とRPA	東京都立大学	渋谷正弘
7月25日（金）	4. IT化+DX推進による自社事業構造の転換	Tテック技術アドバイザー	細川 哲
8月 1日（金）	5. スモールスタートから始める進化を止めないDX推進事例	船場化成(株)	黒川真吾
8月22日（金）	6. 企画の仕事	元ヤマハ発動機(株)	滝沢正博

6. 次世代リーダー育成とTPS実践のための生産管理講座

13:30～16:30

18時間

7月10日（木）	1. トヨタ生産方式の基本的な考え方	(株)ジェイテクト	大野紀一
7月17日（木）	2. トヨタ生産方式（標準作業）	(株)ジェイテクト	大野紀一
7月24日（木）	3. トヨタ生産方式（標準作業と改善）	(株)ジェイテクト	大野紀一
7月31日（木）	4. 顧客の信頼が支えるものづくり組織の活性化と成長	元ヤマハモーターソリューション(株)	寺井康晴
8月 7日（木）	5. リーダーシップの育成とマネジメント	元ヤマハモーターソリューション(株)	寺井康晴
8月18日（月）	6. 企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上	元ヤマハモーターソリューション(株)	寺井康晴

7. 海外ビジネスと商品企画・開発のためのマーケティング講座

13:30～16:30

15時間

8月 5日（火）	1. ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス	日本貿易振興機構（ジェトロ） 徳島貿易情報センター	佐藤 創
8月19日（火）	2. マーケティング発想を柱とする経営	流通科学大学	清水信年
8月29日（金）	3. マーケティング活動の基礎：STPと4P	流通科学大学	清水信年
9月 2日（火）	4. 商品企画とコンセプト	流通科学大学	清水信年
9月 9日（火）	5. 事業システムによる競争優位	流通科学大学	清水信年

8. 光による先端センシング・画像計測技術講座

15:00～16:30

7.5時間

9月 1日（月）	1. 可視～近赤外画像を活用した食の安全技術	阿南工業高等専門学校 徳島大学	山口堅三
9月 8日（月）	2. AIを用いた異物検査システム	徳島大学	獅々堀正幹
9月18日（木）	3. 高感度光センシング・高分解能光イメージング技術の最前線	徳島大学	矢野隆章
9月22日（月）	4. THz波によるイメージング技術	徳島大学	時実 悠
9月29日（月）	5. 非線形光学顕微鏡による生体計測	徳島大学	長谷栄治

9. 建設インフラDX講座ーGISとBIM/CIMー

13:30～16:30

15時間

9月19日（金）	1. GISの考え方	徳島大学	渡辺公次郎
9月26日（金）	2. GISを用いたデータ処理	徳島大学	渡辺公次郎
10月 3日（金）	3. GISの応用	徳島大学	渡辺公次郎 夏目 宗幸
10月10日（金）	4. 建設業界におけるBIM/CIM、インフラDXの動向	四国建設コンサルタント(株)	太田 亮
10月17日（金）	5. オープンデータ等による3次元データの取扱い	四国建設コンサルタント(株)	太田 亮

10. ゼロから学び仕事に活かせる3D-CAD講座

13:30～16:30

21時間

9月24日（水）	1. 3D-CADの概要とAutodesk Fusionを用いた簡単なモデリング	徳島大学	浮田浩行
10月 1日（水）	2. 基本的な形状のモデリング	徳島大学	浮田浩行
10月 8日（水）	3. 複雑な形状のモデリングとアセンブリ	徳島大学	浮田浩行
10月15日（水）	4. CADデータを用いた構造解析	徳島大学	浮田浩行
10月22日（水）	5. 3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力	徳島大学	浮田浩行
10月29日（水）	6. 様々な形状モデルの作成	徳島大学	浮田浩行
11月 5日（水）	7. Autodesk Fusionの様々な機能の紹介、モデリング実習	徳島大学	浮田浩行

11. Raspberry Piを使って学ぶロボットプログラミング講座

13:30～16:30

24時間

10月23日（木）	1. ロボットの基礎技術	徳島大学	鈴木浩司
10月30日（木）	2. マイクロコントローラとロボットの機構	徳島大学	鈴木浩司
11月 6日（木）	3. Raspberry Piの初期設定とGPIO制御	徳島大学	鈴木浩司
11月13日（木）	4. 電圧の計測とセンサICとの通信	徳島大学	鈴木浩司
11月27日（木）	5. PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御	徳島大学	鈴木浩司
12月 4日（木）	6. フィードバック制御によるモータの角度制御	徳島大学	鈴木浩司
12月11日（木）	7. RCサーボモータの制御とアーム型ロボット	徳島大学	鈴木浩司
12月18日（木）	8. 発展課題と大学でのロボット研究紹介	徳島大学	鈴木浩司

12. 基礎から始めるAIエンジニア育成講座

13:30～16:30

21時間

12月 2日（火）	1. AIの基礎	徳島大学	鳥井浩平
12月 9日（火）	2. Pythonのプログラミングと画像処理	徳島大学	鳥井浩平
12月16日（火）	3. 物体認識AIをつくる	徳島大学	鳥井浩平
12月23日（火）	4. 物体認識アプリをつくる	徳島大学	鳥井浩平
1月 6日（火）	5. 言語生成AIをまなぶ	徳島大学	石田基広
1月13日（火）	6. 言語生成AIを拡張する	徳島大学	石田基広
1月20日（火）	7. 言語生成AIに追加の情報を与える	徳島大学	石田基広

ベンチマーク視察

13. 優良企業の知恵を現地で学ぶベンチマーク視察

9月25日（木）	1. 西精工株式会社 土成第一工場	阿波市
2月17日（火）	2. 株式会社日新 四国工場	小松島市

やむを得ない事情により、講義の日程、および、担当講師が変更となる場合があります。

講座1

エンゲージメント マネジメント講座

到達目標

- ①エンゲージメントについての知識習得、エンゲージメント経営の実態と課題について理解し、今後の企業における取り組みにつなげる。
- ②人を生かす経営を習得し、経営者、社員全員がベクトル一致の強靱な組織づくりにつなげる。
- ③寄り添いの経営を習得し、全社員の働く幸せの実現、お客様の笑顔、地域になくてはならない存在となる企業づくりにつなげる。
- ④人を大切にするという本当の経営についての重要性を理解し、誰もが生き生きと働ける、働きがいのある職場づくりにつなげる。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 21.5時間

受講料

*コマ受講不可です。

36,000円

テキスト

事前の購読を
おすすめします。

坂本光司著「会社の偏差値」強くて
愛される会社になるための100の指標
坂本光司著「経営者のノート」



講座紹介

「人への投資、人を大切にする、人を幸せにする企業をどうつくるか」という「人的資本経営」に関する動きが国内において活発化しています。この講座では、「エンゲージメント経営」に焦点をあて、学びを実践に活かせる講座を実施します。キーワードは、人を活かす経営、寄り添いの経営、本当の経営です。この講座は、講義、ケーススタディ、ディスカッションとベンチマーク視察（岡山県内企業）により構成されています。講義では経営に関する理論の習得を行います。ケーススタディでは、徳島県をはじめとして、福岡県、香川県などの優良企業経営者による最新の事例研究を行います。理論、ケーススタディを踏まえ、グループでのディスカッションにより事例研究発表を行うことにより、知識を深化させます。ベンチマーク視察では経営者、人事労務担当者から講演をいただいた後、工場見学を行い、「人財育成の取り組み」「優れたものづくり技術」について学び、得られた知識を自社に取り入れる手法を提案します。

担当講師

コマ1・5	人を大切にする経営学会 会長 坂本 光司	コマ2	(株) 障がい者つくし更生会 専務取締役 那波 和夫
コマ1・2・5	徳島大学人と地域共創センター 教授 段野 聡子	コマ3	徳武産業（株） 代表取締役会長 十河 孝男
コマ1・5	(株) 高橋ふとん店 代表取締役社長 高橋 武良	コマ3	ユニコム（株） 代表取締役社長 藤原 康雄

講座プログラム

- 7月 4日（金） 1. いい会社になるための100の指標
経営理念の成文化と社内への浸透
- 7月28日（月） 2. エンゲージメントマネジメントによる社員定着率100%
「奇跡の会社」
エンゲージメント向上と社会保障制度
- 9月 5日（金） 3. 人生の素晴らしさを分かち合う経営を目指して
寄り添いの経営
- 10月20日（月） 4. ベンチマーク視察
- 11月13日（木） 5. ベンチマーク視察の学びについての振り返り、
成果発表

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884

E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：いい会社になるための100の指標

○いい会社になるための100の指標

このコマでは、いい会社になるための「あり方」と「やり方」について、4つの視点から講義を行います。①あり方の間違いはやり方では修復不可能です。②企業経営のあり方とは、正しい経営を愚直一途に実践することです。③正しい経営とは、「偽りのない経営」「お天道様に顔向けのできる経営」「人をトコトン大切にできる経営」です。④正しい経営を続けない限り、社員のモチベーションを高めることはできません。

○経営理念の成文化と社内への浸透

経営理念は、経営を行う上で基本とすべき経営方針や価値観や考え方を明文化したものです。自分たちが企業運営を行う目的や行動指針ともなるため、企業経営の軸となる存在です。経営理念を軸として、企業経営の進むべき方向性を明らかにし、社員の意思を統一することにより、強靱な組織力を構築することができます。このコマでは、経営理念とは何か、経営理念の重要性と社内へ浸透させるための方策について徳島県企業の事例を用いて講義を行います。

コマ2：エンゲージメントマネジメントによる社員定着率100%「奇跡の会社」

○エンゲージメントマネジメントによる社員定着率100%「奇跡の会社」

人を大切にする経営だからこそできる本当の経営とは何か。このコマでは、障がい者法定雇用率100%として奇跡の会社と呼ばれる福岡県の企業事例を用いて、社員がイキイキと楽しく働くことができる人財育成のあり方について講義を行います。

○エンゲージメント向上と社会保障制度

このコマでは、社会保障制度とは何か、社会保障制度の仕組みと基本的な考え方、エンゲージメント経営のあり方について講義を行います。会社がさまざまな社員の多様な期待に応え、全社員を幸せにして熱意を引き出すことが可能となる方策について考えます。

コマ3：人生の素晴らしさを分かち合う経営を目指して / 寄り添いの経営

○人生の素晴らしさを分かち合う経営を目指して

このコマでは、「全社員の物心両面の幸福の追求」、「仕事を通じて人格を高め、一隅を照らす人材となり、業界の進歩発展並びに地域社会と日本の繁栄に貢献する」という、経営理念を掲げ、油圧における国内唯一の技術力を持つ、香川県の事例を用いて、社員と社員の家族を大切にする経営について講義を行います。

○寄り添いの経営

このコマでは、損得ではなく、善悪で判断する経営を愚直に進めたことにより、奇跡のシューズと呼ばれる靴がつくられたというエピソードをもとに、社員力の視点から講義を行います。会社の力は、決算書にある財務諸表で示される内容よりも、帳簿外にある社員力、お客様からの信頼、期待、地域の人たちからの応援にあるとする「寄り添いの経営」について習得します。

コマ4：ベンチマーク視察

*別途バス代が必要です。

●鷹取醤油株式会社

明治38年創業と鷹取醤油株式会社は、現在も、100年先の時代にも、世界に必要な会社になるために、「四つのテスト」を挙げています。①社員とその家族のためになるかどうか②チーム鷹取（お取引業者様）のためになるかどうか③地域と社会のためになるかどうか④現在とお客様のためになるかどうか、「人を大切にする経営」により、鷹取醤油に関わる全ての方に幸せ、味と品質を守り続けています。ベンチマーク視察では、関わる人々の幸せの追求、実現について考えます。

●伊知建興業株式会社

創立当初より、「出会いと感謝の気持ち」という言葉を大切にしています。出会いとは、「ご縁」と「徳」であり、なにより人が大切であると考えます。地域社会の幸せと豊かさを継続していくための取り組みとして、休耕地での米・野菜づくり、空き家、空き土地問題の解決、支援学校などとの連携による農業体験、就労体験の実施に取り組んでいます。ベンチマーク視察では社員を幸せにする経営、そして、人を大切にする土壌の醸成について考えます。

コマ5：ベンチマーク視察の学びについての振り返り、成果発表

ベンチマーク視察により得られた知見をディスカッション等を通じて振り返ることにより、自社の置かれている状況を客観的に評価、把握し、自社の業績の向上に反映させます。最終講義として、これまでの学習により得たもの、そして得られたものを自社にどのように活用するかということについて、各自成果発表を行います。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座2

人を大切にする 経営学講座

人を大切にする経営学会 後援

到達目標

- ①企業経営のあり方について理解し、時代が求める組織づくりにつなげる。
- ②人を大切にする経営の職場環境づくりについて理解し、社員を物心両面で幸せにする職場づくりにつなげる。
- ③人を大切にする経営の重要性について理解し、社員一人一人がそれぞれの能力をフルに発揮し、大きな成果を生むことができる会社につなげる。
- ④社員第一主義経営について事例をもとに理解し、「年輪経営」の風土の醸成につなげる。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 21.5時間

受講料

*コマ受講不可です。

36,000円

テキスト

事前の購読を
おすすめします。

坂本光司著「会社の偏差値」強くて
愛される会社になるための100の指標
坂本光司著「経営者のノート」



講座紹介

この講座では、「人を大切にする経営で、社員が幸せになる会社をつくる」に焦点を当て、社員第一主義の会社とは何なのか、どのようにするのかというアプローチにより、理論と実務の面から企業経営のあり方について学ぶことができます。「人を大切にする経営」とは、社員とその家族、協力会社とその家族、顧客、地域社会、株主という5人の関係者の幸せを実現する「五方良し」の経営です。講義では、まず、第一に社員とその家族の幸せについて考えます。そして、人を大切にする経営における環境づくりについて「経営理念」「企業の使命・役割」「年輪経営」「社員の幸せ」の4つの視点から学習します。ケーススタディでは、「何のために経営をしているか」、「企業のあるべき姿」、「社員の幸せ追求」について、長野県、徳島県、岡山県、福井県などの優良企業から学びます。理論、ケーススタディにより知識を習得し、異業種交流によるグループディスカッションにより知識を深化させます。ベンチマーク視察では、経営者、人事労務担当者から講演をいただき、工場見学を行います。企業訪問研究により「人を大切にする経営」「人財育成の取り組み」について学び、得られた知識を自社に取り入れる手法を提案します。

担当講師

コマ1・5	徳島大学人と地域共創センター 教授 段野 聡子	コマ2	伊那食品工業（株） 元会長 井上 修
コマ1・5	人を大切にする経営学会 会長 坂本 光司	コマ2	（株）シケン 代表取締役社長 島 隆寛
コマ1・5	（株）高橋ふとん店 代表取締役社長 高橋 武良	コマ4	萩原工業（株） 代表取締役社長 浅野 和志
		コマ4	福井経編興業（株） 代表取締役社長 高木 義秀

講座プログラム

- | | |
|-----------|---|
| 10月 6日（月） | 1. 時代が求める企業経営のあり方・進め方 |
| 11月28日（金） | 2. 人を大切にする経営 |
| 12月 5日（金） | 3. ベンチマーク視察 |
| 1月29日（木） | 4. 萩原工業の人を大切にする経営
衣料から医療への挑戦「下町ロケット2〜リアルガウディ計画〜」 |
| 2月12日（木） | 5. ベンチマーク視察の学びについての振り返り、
成果発表 |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884

E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：時代が求める企業経営のあり方・進め方

近年の拡大する企業間格差の最大要因は経営の「やり方」格差等ではなく、経営の「あり方」格差であると言っても過言ではありません。「あり方」とは「どのような時代でも正しい経営をする・・・」「どのような環境下であっても世のため、人のためになる経営をする・・・」といったことです。このコマでは、企業経営の目的・使命である、関わる人々の幸せの追求・実現をするための経営の「あり方」について講義をします。また、人を活かす経営の入り口である「経営理念」の浸透について講義をします。

コマ2：人を大切にする経営

このコマでは、2つの企業事例を通じて、人を大切にする経営について習得します。まず、伊那食品工業（株）は、家族優先、社員第一主義を掲げ、社員とその家族を大切にする経営者がいて、「会社は社員を大切にするためにある」という風土が社風にあるからこそ、49年連続、増収・増益の記録を達成することができています。このように、「リストラなしの年輪経営」による風土づくりのあり方について、講義をします。

また、（株）シケンでは、社員の働きがいを重視し、有給休暇の増加、完全週休二日制の達成などの社内改革を積極的に取り組み、社員の豊かな人生の創出、海外でも活躍できる人財育成に向けて、リスキリングを継続して行っています。歯科技工物の製作、販売において、国内トップクラスを誇る企業における、「人を大切にする経営」のあり方について講義をします。

コマ3：ベンチマーク視察

＊別途バス代が必要です。

●株式会社八天堂

（株）八天堂は「挑戦」を応援する会社です。失敗を応援する「挑戦とリベンジの会社」です。新しい食文化を世界中の人々に提案するとともに、人づくりの会社を目指すという「志」があります。

ベンチマーク視察では、工場見学等を通じて信条（クレド）である“八天堂は社員のために お品はお客様のために 利益は未来のために”をもとに、社員が心身ともに健康で楽しく生き活きと働くことができる環境づくりについて考えます。

コマ4：萩原工業の人を大切にする経営 / 衣料から医療への挑戦「下町ロケット2〜”リアル”ガウディ計画〜」

○萩原工業の人を大切にする経営

会社を持続的に成長させるには、人、とりわけ社員等の満足度や幸せこそ最大目標であり最大成果と考える経営のあり方について講義をします。岡山県の企業事例を通じて、事業の安定化と強化＝「深化」と、新たな挑戦とイノベーション＝「探索」の両方のバランスの重要性、既存の方法にとらわれず、未知の領域への知的探究も積極的に行うことが出来る社内体制の構築について考えます。

○衣料から医療への挑戦「下町ロケット2〜”リアル”ガウディ計画〜」

福井経編興業は、委託加工だけでなく、自ら衣料品などの製品を企画・販売する「自販」の活動を行ってきました。その培ってきた編みの技術を活かしてシルクを編み込む技術で人工血管の製造技術の開発に成功しました。このコマでは、世界への挑戦を可能にする人財育成のあり方、社員一人ひとりが最大限の力を発揮できる組織力の構築について、人を切にする経営の視点から講義を行います。

コマ5：ベンチマーク視察の学びについての振り返り、成果発表

ベンチマーク視察により得られた知見をディスカッション等を通じて振り返ることにより、自社の置かれている状況を客観的に評価、把握し、自社の業績の向上に反映させます。最終講義として、これまでの学習により得たもの、そして得られたものを自社にどのように活用するかということについて、各自成果発表を行います。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座3

NEW

人的資本経営を深化させる マーケティング戦略講座



到達目標

- ①マーケティングについての知識習得、マーケティング戦略における自社の現在地と課題について理解し、今後の企業における取り組みにつなげる。
- ②人を活かす経営を習得し、経営者、社員全員がベクトル一致の強靱な組織づくりにつなげる。
- ③自社の強みを活かした戦略構築のプロセスを理解し、今後の企業価値向上につなげる。
- ④事業承継を取り巻く現状と課題について理解し、自社の経営資源と外部環境変化の関わりを習得する。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 21.5時間

受講料

*コマ受講不可です。

32,000円

講座紹介

企業における人への投資は、人の能力を見つめ直し、人を活かすことに繋がり、「ここで成長したい」「共に働きたい」という優秀な人材が定着します。人という財産が蓄積した企業においては、従来とは異なった切り口のマーケティング戦略が生まれる可能性に繋がります。この講座では、これまでのマーケティング戦略とは異なり、人への投資という、人的資本経営の視点からマーケティングについて、理論と実務の両面から、実践的な講義を実施します。キーワードは、人への投資、自社分析、成長戦略、企業価値です。フレームワークは、講義、ケーススタディ、ディスカッションにより構成されています。講義では、人的資本経営、マーケティング論についての基礎的知識を習得します。ケーススタディでは、徳島県内の企業経営者、税理士、中小企業診断士などの専門家による、マーケティング戦略における企業価値向上などについて、最新の事例研究紹介を行います。ディスカッションでは、これまでに得られた知識を自社に取り入れる手法について、発表、提案します。

担当講師

- | | |
|-------|------------------------------------|
| コマ1～5 | GPコンサルティング（株） 代表取締役
森 卓史 |
| コマ1 | 西精工（株） 代表取締役社長
西 泰宏 |
| コマ2 | 税理士法人ひとざい 代表税理士
瀬嶋 宏典 |
| コマ3 | （株）シケン 代表取締役社長
島 隆寛 |
| コマ4 | （株）イマデヤ 代表取締役社長
今出 貴士 |
| コマ5 | 徳島大学 人と地域共創センター 教授
段野 聡子 |

講座プログラム

- | | |
|-----------|---------------------|
| 8月25日（月） | 1. モノづくりは人づくり |
| 9月12日（金） | 2. 事業承継による経営戦略の変化 |
| 10月27日（月） | 3. 自社の市場分析と成長戦略の構築 |
| 11月17日（月） | 4. 環境変化による戦略の選択 |
| 12月12日（金） | 5. 学びについての振り返り、成果発表 |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：モノづくりは人づくり

マーケティングとは売れる仕組みを構築することです。マーケティングにおける成功のカギは、人にあります。このコマでは、西精工株式会社の「人づくりを基点に 徳島から世界へ ファインパーツの極みを発信する」というビジョンのもと、人を大切にする取り組みやこだわり、人を活かしたマーケティングについて講義をします。

コマ2：事業承継による経営戦略の変化

経営者の高齢化にともない、後継者不在による廃業の増加が大きな問題となっています。さらに、コロナ禍などにより社会や企業をとりまく環境も大きく変化しています。このコマでは、「事業承継とは何か」徳島県内における、中小企業診断士、税理士により、事業承継の実態と課題について、様々な事例をもとに講義を行います。グループディスカッション、質疑応答により理解を深めます。

コマ3：自社の市場分析と成長戦略の構築

成長戦略のフレームワークについて、Ansoffの成長マトリックス（「市場浸透戦略」「市場開拓戦略」「製品開発戦略」「多角化戦略」）などを用いて講義を行います。徳島県内企業の事例をもとに、「自社の強みとは何か」、「自社の強み」、「人を活かした戦略構築のプロセス」について考えます。グループディスカッションを通じて、成長戦略についての知識の深化を行います。

コマ4：環境変化による戦略の選択

このコマでは、マーケティング戦略を立てるためのSWOT分析の核となる「外部環境」「内部環境」について講義を行います。内部環境とは、自社が保有している財産は何か、自社では何ができるのか、何を得意としているのかといった自社に関する情報です。徳島県内の事例を通じて、環境の変化による戦略のあり方について考えます。グループディスカッション、質疑応答により理解を深化させます。

コマ5：学びについての振り返り、成果発表

これまでの講義により得られた知見をディスカッション等を通じて振り返ることにより、自社の置かれている状況を客観的に評価、把握し、自社の業績の向上に反映させます。最終講義として、これまでの学習により得たもの、そして得られたものを自社にどのように落とし込むかということについて、各自成果発表を行います。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座4

NEW

労務管理のための ビジネスコミュニケーション講座



到達目標

①どのように人間関係を構築すれば心理的安全性の高い組織となるのか、心理的安全性を高めることによる経営上のメリットを理解し、エンゲージメントの向上につなげる。

②会議やミーティングなどにおけるディスカッションに必要な知識、アサーティブなコミュニケーションを学び、相手の意見も尊重しながら、自分の意見や要望を伝えるスキルについて理解を深める。

③社内相談や評価面談等に必要な傾聴・コーチングスキルを体験的に理解し、社内相談業務の実務能力を身に付ける。

④ストレス要因や思考のクセを理解し、ストレスとの上手な付き合い方やセルフマネジメントの方法を習得する。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 21.5時間

受講料

*コマ受講不可です。

32,000円

講座紹介

近年、新型コロナウイルス対策の経験による社会的な影響やSNS上のコミュニケーション環境の隆盛も相まって、人間関係の構築方法・考え方や人との心理的距離感の変化は、人間関係のストレスへ大きな影響を与えています。産業現場では、メンタル関連疾患の増加による労働生産性への影響、労災認定の増加等によるリスクマネジメント上の問題が年々増す中、いわゆる人パワハラ法など法改正において、メンタル関連疾患へつながる人間関係のトラブルなど従業員からの相談に対して事業主は相談体制を構築し、対応していくことが義務付けられるようになりました。

この講座では、人的資本経営の中核をなす組織風土の醸成に必要な心理的安全性の高い組織を目指し、メンタルヘルス不調の防止につなげていくことだけでなく、企業内の相談対応を含めたコミュニケーション力などの対人関係スキルを高めることによりエンゲージメントや生産性の向上につなげていくことを目指します。

担当講師

コマ1～5	GCOキャリア・カウンセリング事務所 代表 尾形 隆平
コマ1	(株)カムラック 代表取締役 賀村 研
コマ5	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授 甲田 宗良

講座プログラム

10月 9日 (木)	1. 心理的安全性を高める組織づくり
11月14日 (金)	2. 組織づくりに活かすコミュニケーション
12月19日 (金)	3. 人を大切にするためのコミュニケーション (1)
1月30日 (金)	4. 人を大切にするためのコミュニケーション (2)
2月20日 (金)	5. 人を大切にするためのセルフケア

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：心理的安全性を高める組織づくり

心理的安全性を高めることにより、組織におけるメンタルヘルス上の課題の克服だけでなく、多種多様な意見を引き出すことができ、新しいアイデアの発見やイノベーションの創出が可能になるといわれています。日本でいちばん大切にしたい会社大賞の受賞企業である就労支援事業所での事例と組織心理学などの心理学理論を踏まえながら、心理的安全性を高め良質なコミュニケーションが生まれる組織について学びます。

コマ2：組織づくりに活かすコミュニケーション

ビジネスコミュニケーションでは「自分の意図を伝える」「相手の意図を的確に理解する」「認識を共有する」ことが重要となります。このコマでは、アサーティブなコミュニケーションを学び、相手の意見も尊重しながら、自分の意見や要望を伝えるスキルについて理解を深めます。また、ファシリテーションのスキルを学び、会議等で「認識を共有」したり生産的かつ効果的にディスカッションを行う方法を体験的に学びます。

コマ3：人を大切にするためのコミュニケーション（1）

ビジネスにおいては、自分の意見を主張するだけでなく、話をしっかり聞いて理解できる能力を高めることによって、関係者と信頼関係を築き、仕事を円滑に運ぶことができます。また、相談を受ける場面では最も重要なスキルになります。このコマでは、1対1の対話の基本となる傾聴（アクティブリスニング）を学び、実技・演習によって体験的に理解を深めます。

コマ4：人を大切にするためのコミュニケーション（2）

このコマでは、3コマ目で学んだ傾聴での「相手を理解するための質問」から「適切な問いを投げかけながら問題解決をサポートする質問」への展開について考えていきます。相談を受ける場面では、相談者の自己決定を促し、設定した目標を実行に移せるよう援助するために必要なスキルの一つです。コーチング的な考え方を取り入れ、質問による対話の深め方について学び、実技・演習によって体験的に理解を深めていきます。

コマ5：人を大切にするためのセルフケア

メンタルヘルス不調に初期段階で気づくことができれば、すぐに適応障害やうつ病といった深刻な状態に陥るケースを防ぐことができます。このコマでは、これまで学んだ心理的安全性やコミュニケーションについての学びを振り返りながら、まずは「自分の健康を守ること」の大切さを理解し、マインドフルネスなどセルフケアの方法を学びます。また、仕事の合間にできる気分転換の方法を従業員に教えたり、従業員が自身のストレスを解消できる方法を見つけられるようアドバイスできる知識を身に付けることを目指します。



講座5

NEW

基礎と実践スキルを 学ぶDX入門講座



到達目標

- ①デジタル技術の高度化と民主化を背景として、企業DXの概要と推進方法を説明できる。現場のデータとAIを活用し課題を解決するしくみを説明できる。
- ②AIツールを活用し効率的に文書管理する方法が説明できる。
- ③RPA技術による業務の自動化を説明できる。
- ④現場の実装事例から失敗しないDX推進方法、DX人材教育、セキュリティを理解できる。
- ⑤スモールスタートから情報システム構築までのDX化を学び自社の課題解決に結び付ける。

習得に必要な時間

コマ数：6コマ 18時間

受講料

*コマ受講可能です。

18,000円

講座紹介

少子高齢化に伴い、生産年齢人口の減少が進んでおり、中小企業では人手不足や後継者不足が問題となっています。このために、企業の生産性を高め、国際競争力を強化する必要があり、IT化やDX化が有力な手段となります。

この講座は、6つのコマで構成されており、企業のDX推進に必要な知識と実践的なスキルを学ぶことができます。最初に、初心者でも理解できるDXの基本的な概念を学び、企業DXを進めるためのCPS（サイバーフィジカルシステム）におけるデータとAIを使った課題解決の仕組み、業務の見える化を紹介します。

次に、AIを活用した社内文書管理の業務効率化など、具体的な取り組みを紹介しします。続いて、DXを支えるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）技術を学びます。さらに、IT化とDX推進を通じて事業転換をスムーズに進めるための手順を実践的に学び、経験から得たノウハウを紹介しします。

また、製造現場で俗人化した業務をスモールスタートからDX化し、10年をかけて全社的な情報システムを完成させた実績をもとに、各社の導入課題への解決方法を提案します。

最後に、企業の「経営企画」部門においては、10年後、20年後の展望を示すことが求められ、経営資源の活用法や「企画」における重要な役割についても説明します。

担当講師

コマ1	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 上席顧問 竹井 俊文	コマ4	Tテック技術アドバイザー 細川 哲
コマ2	徳島大学デザイン型AI教育研究センター 教授 石田 基広	コマ5	船場化成（株） 総務・人事課 課長 黒川 真吾
コマ3	東京都立大学 システムデザイン学部 准教授 渋谷 正弘	コマ6	ヤマハ発動機（株） 元取締役常務執行役員 滝沢 正博

講座プログラム

7月 4日（金）	1. ゼロから学ぶ企業DXと社内での推進方法
7月11日（金）	2. AIによる文書管理
7月18日（金）	3. 業務分析とRPA
7月25日（金）	4. IT化+DX推進による自社事業構造の転換
8月 1日（金）	5. スモールスタートから始める進化を止めないDX推進事例
8月22日（金）	6. 企画の仕事

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：ゼロから学ぶ企業DXと社内での推進方法

我が国の社会ビジネスの背景、デジタル技術の高度化と民主化から登場したDXの概念、経済産業省が推奨する企業DX、社内での推進方法について学びます。DXの肝となるCPS（サイバーフィジカルシステム）におけるIoT、ビッグデータ、AI、5Gの役割、ならびにデータとAIによる課題解決のしくみについて学びます。代表的な生成AIや画像認識AI等による日常業務・生産現場・経営の变革、そして四国の実装事例について学びます。

コマ2：AIによる文書管理

ChatGPTやGeminiに代表されるAIチャットボットを使って、効率的に業務文書を作成、あるいは分析する方法を学びます。また、社内文書をAIチャットボットに学習させ、社内情報をチャット形式で検索あるいは要約する技術を紹介しします。

コマ3：業務分析とRPA

バックオフィス業務はルーティンワークが多く、特に疑問を持たずに「こういうものだ」と思って業務を進めている場合が多いです。このコマでは、業務を図解する手法と分析手法を学びます。更に、DXをフロントエンドで支える技術RPA（Robotic Process Automation）の考え方、PC作業業務の中で単純作業を自動化する方法を紹介しします。

コマ4：IT化+DX推進による自社事業構造の転換

アナログ、又はアナログ+デジタル共用状態で運営している製造業の事業形態において、自社の情報の完全IT化を実現することで、間接部門を必要としない未来型の製造業への転換を図りたい方へ（DX：人材は知財を活用する部門へ集約）まざスタートラインとなる、情報のIT化（システム構築）をスムーズに推進する合理的な進め方を、講師自身の失敗経験を生かして紹介しします。

コマ5：スモールスタートから始める進化を止めないDX推進事例

船場化成（株）は65年以上、徳島県でポリエチレン製造を行っています。その中で俗人化した業務のDX化を2014年以降、順次推進してきました。最初の取り組みはラベルを印刷することからスタートし、現在は、会社の状況が一目でわかるシステムに進化しています。DX推進や実際のシステムの内容を紹介するとともに、DX導入にあたる課題解決の糸口を見つけることを目指します。

コマ6：企画の仕事

「企画」は経営と直接関係があります。商品のラインナップを整備し、個々の商品の競争力を測り、中期事業計画としてまとめます。今までの開発、調達、営業のやり方で競争力が保てるか、売上に結びつくか、市場シェアはどうなっているのかなどに目を配ります。経営企画は、当然直近の詳細も説明できることが求められますが、10年先、20年先の展望を示すことも求められます。このコマでは、「企画」として何をすべきか、してきたのか、事例を含めて説明しします。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座6

次世代リーダー育成と TPS実践のための 生産管理講座

到達目標

①トヨタ生産方式の基本的な考え方を学び、標準作業の作り方、使い方を習得して自社へ応用する。

②標準作業を使って調査する事で改善ポイントを明確にして改善の手順を自社の改善へつなげる。

③組織のチーム力がサービスの信頼性と競争力を産み出し、成長戦略はリーダーが支えていることを理解する。

④リーダーシップの育成とマネジメントシステムの活用が企業の信頼性を産み出すことを理解し自社で活用する。

講座紹介

この講座では、トヨタ生産方式（TPS）の本質を学び、現場改善の実践力を養います。TPSの柱である「自動化」と「ジャストインタイム」を理解するとともに、在庫削減と異常管理の重要性について掘り下げます。実物を用いた説明を通じて、「標準作業」の必要性や作成・活用方法を学びます。さらに、自社の職場で改善を進めるための具体的な手順やポイントを習得し、生産管理の専門家を育成することを目指します。また、講座の後半では、生産管理を経営の視点からも捉え、講師がものづくりの現場で得た実践的な手法を紹介します。特に、経営理念や戦略の重要性を理解し、組織のチーム力向上や品質向上につなげる考え方を学びます。さらに、リーダーとしての視点や、人を大切にする姿勢を身につけ、リーダーシップが経験と訓練によって成長することを理解します。最後には、職場風土の改革を通じて働きやすい環境を整え、社会人基礎力の向上や効果的なコミュニケーションの実践を目指します。

担当講師

コマ1～コマ3

(株) ジェイテクト 徳島工場 海外改善課 課長
大野 紀一

コマ4～コマ6

ヤマハモーターソリューション(株) 元代表取締役社長
寺井 康晴

講座プログラム

7月10日(木)	1. トヨタ生産方式の基本的な考え方
7月17日(木)	2. トヨタ生産方式（標準作業）
7月24日(木)	3. トヨタ生産方式（標準作業と改善）
7月31日(木)	4. 顧客の信頼が支えるものづくり組織の活性化と成長
8月 7日(木)	5. リーダーシップの育成とマネジメント
8月18日(月)	6. 企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上

習得に必要な時間

コマ数：6コマ 18時間

受講料

*コマ受講可能です。

18,000円



徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：トヨタ生産方式の基本的な考え方

トヨタ生産方式（TPS：Toyota Production System）は、トヨタグループのモノづくりにおける基本的な考え方です。このトヨタ生産方式の基本的な考え方をモノづくり会社（製造業）として実践するためにどういう事をするか、具体的な事例を用いながら説明します。まずは、トヨタ生産方式の2本柱である、ジャストインタイム・自動化とは？よく聞く言葉ですが、本当の意味は、在庫削減（L/T短縮）・異常値管理。なぜ、これにこだわるのか？を分かりやすく説明します。

コマ2：トヨタ生産方式（標準作業）

トヨタ生産方式を再度振り返ります。トヨタ生産方式の2本柱であるジャストインタイムと自動化。

①ジャストインタイムの考え方である『必要な物を、必要な時に、必要なだけ造る』

②自動化の考え方である『サイクルが完了・サイクルに異常があれば停まる・判る』

これらを具現化するために標準作業が存在します。その標準作業の必要性・作り方、標準3票の使い方を作業の種類によって使い分けしていきます。その作り方・実物を使って説明します。

コマ3：トヨタ生産方式（標準作業と改善）

トヨタ生産方式の2本柱の土台になっているのが標準作業です。ジャストインタイムと自動化を具現化するための道具の一つです。『標準のないところに改善なし！』と言われるように作業手順や時間、作業方法など作業標準がなければ改善ができないだけでなく、改善結果の評価もできません。このコマは標準作業の改善の考え方を理解し道具の使い方を身につけることを目的にその標準作業を使って現状を調査する事によって、改善ポイントを明確にして、改善するステップ一つ一つの手順を説明します。

コマ4：顧客の信頼が支えるものづくり組織の活性化と成長

＊この講座は、経営者、管理者、現場リーダーを対象としています。



製造業は情報をモノやサービスに変換する産業で、お客様に商品が届き長い時間をかけて使っていただく中で企業、ブランドへの信頼が生まれます。このコマではいかにして組織のチーム力により信頼性を高めながら競争力を付けていくかを学習します。経営理念から一人一人の動作・作業の集積までが製品やサービスの信頼性に繋がっている構造を明らかにし、リーダーとして組織の活性化と成長のために果たすべき役割を理解します。

コマ5：リーダーシップの育成とマネジメント

＊この講座は、経営者、管理者、現場リーダーを対象としています。



ものづくり現場の活性化やリーダーシップを育成するには組織における人事管理として歴史的にどのような取り組みがされてきたか理解する必要があります。このコマでは人事管理、労務管理の歴史を学び、リーダーシップは資質ではなく、意識して経験や訓練を積むことで学習できることを理解し、リーダーとして必要な考え方、視点、人を大切にすることを学びます。またマネジメントの責任と信頼性についても学びます。

コマ6：企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上

＊この講座は、経営者、管理者、現場リーダーを対象としています。

競争力の源泉である企業風土、職場風土をいかにして改革するか。このコマでは本当に働きやすい職場、コミュニケーションしやすい人間関係を構築するために講師が取り組んだ3つの柱を紹介します。社会人として必要な社会人基礎力、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームワーク」について解説し、効果的なコミュニケーション能力向上方法を伝授します。



＊Zoomによるオンライン講義

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座7

海外ビジネスと商品 企画・開発のための マーケティング講座

到達目標

- ①海外ビジネスの成功のポイントを理解する。
- ②マーケティング論の基本かつ重要な理論や概念について正しく理解する。
- ③学んだ理論や概念を用いて、他社事例について分析することができる。
- ④学んだ理論や概念を用いて、他の人とマーケティング課題についての議論ができる。
- ⑤自社のマーケティング課題について、改善策や新しい提案を示すことができる。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 15時間

受講料

*コマ受講可能です。

15,000円



講座紹介

多くの日本企業では現在、海外へのビジネス展開に対する関心がますます高まっています。この講座では、はじめに、企業の担当者が海外ビジネス展開を目指す際に基礎となるマーケティングのポイントを学びます。また、実際に海外ビジネスに取り組む企業の事例について解説し、それを元にしたワークショップを行います。題材として提示する企業の海外向けマーケティングについて受講生によるグループディスカッションを行なうことで、その実践方法や自社への適用方法についての理解を深めます。

マーケティングは、営利・非営利などの組織形態、製造業やサービス業などの業種、また企業規模の大小を問わず、組織が市場や社会と良好な関係を築くために重要な役割を果たす活動です。次に、企業がマーケティングを実践する際に基礎となる知識を習得するとともに、事例研究を通じてその実践方法や自社への適用方法についての理解を深めることを目指します。

講座内の事例研究では、受講生がグループを組んでディスカッションを行ないます。単なる座学で済ますのではなく、実際の企業事例における取り組み課題について自ら考え意見を交わすことにより、マーケティング分野の理論や重要概念がどのような形で活用できるのか、より深く理解することにつながります。取り上げる事例は、多くの人に馴染みがある著名な消費財企業のものが多いですが、産業財分野のマーケティングでも共通する学びを得ることができます。

担当講師

コマ1 日本貿易振興機構（ジェトロ）徳島貿易情報センター 所長
佐藤 創

コマ2～コマ5 流通科学大学 学長
清水 信年

講座プログラム

- 8月 5日（火） 1. ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス
- 8月19日（火） 2. マーケティング発想を柱とする経営
- 8月29日（金） 3. マーケティング活動の基礎：STPと4P
- 9月 2日（火） 4. 商品企画とコンセプト
- 9月 9日（火） 5. 事業システムによる競争優位

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス

今日では国内と海外のマーケットの垣根は以前に比べると大幅に低くなっており、中小企業であっても海外マーケットに自社製品を輸出して販路を拡大することは特別なことではなくなりました。今回はジェット口が持つ、海外での販路拡大を実現した中小企業のいくつかの事例に基づくケーススタディや、受講生も参加するワークショップなどを通じて、海外ビジネスの成功のためのポイントについて学びます。

コマ2：マーケティング発想を柱とする経営

マーケティングを企業経営の柱とすることの重要性や、そのために留意しなければならない考え方についての理解を目指します。優れたマーケティング事例の古典として知られる、欧州系エアライン企業の事例などの紹介を交えながらケースディスカッションや講義を行ないます。

コマ3：マーケティング活動の基礎：STPと4P

マーケティング活動を実践する際に基礎的な枠組みとなる、STPと4Pについて正しく理解することを目指します。理解を深めるための事例として、日本のある製菓会社におけるマーケティング改革を取り上げ、受講生同士のケースディスカッションを行ないます。

コマ4：商品企画とコンセプト

商品開発をする際に求められる、マーケティングの観点にもとづいた商品企画の方法について、その要点を理解することを目指します。事例として、日本のあるビールメーカーにおけるノンアルコールビール開発を取り上げ、受講生同士のケースディスカッションを行ないます。

コマ5：事業システムによる競争優位

現代の市場競争で重要な役割を果たす「事業システム」の考え方について、とくに「商品」による競争と「事業システム」による競争との違いを理解することを目指します。事例として、日本のあるコンビニエンス・ストアが手がけたスイーツ商品を取り上げ、受講生同士のケース・ディスカッションを行ないます。



徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座8

光による先端 センシング・ 画像計測技術講座

到達目標

①レーザー光源や受光素子・撮像素子といった光素子技術の発達、AI技術やナノ加工技術といった他分野技術との融合などによって高度化している最新の光によるセンシングや画像計測技術への理解を深める。

②上記により得られた知識を検査技術高度化や製品開発研究に繋げることを目標とする。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 7.5時間

受講料

*コマ受講可能です。

7,500円

*光による先端センシング・画像計測技術講座は、徳島県「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出事業補助金」の支援により推進しています。

講座紹介

この講座は、新しい光源・受光素子や他分野の新技术を取り入れて発展を続ける光によるセンシング・画像計測について、新技术を5回にわたり紹介します。内容としては、可視～近赤外線画像計測による異物検査、AIを用いた異物検査システム、非線形光学顕微鏡による生体計測、THz波による計測、超高感度センシング・イメージング技術とバラエティに富みます。これらはそれぞれが独立したトピックスのように見えますが、光の性質や、物質の光に対する振る舞いをうまく利用して、測定対象物から捉えたい情報を得るという考え方は共通しており、光技術の奥深さを感じさせ、これからの展開を期待させるものばかりです。

担当講師

コマ1	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 准教授／ 徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所 客員准教授 山口 堅三
コマ2	徳島大学大学院社会産業理工学研究部／ ポストLEDフォトンクス研究所 教授 獅々堀 正幹
コマ3	徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所 教授 矢野 隆章
コマ4	徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所 講師 時実 悠
コマ5	徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所 講師 長谷 栄治

講座プログラム

9月 1日 (月)	1. 可視～近赤外画像を活用した食の安全技術
9月 8日 (月)	2. AIを用いた異物検査システム
9月18日 (木)	3. 高感度光センシング・高分解能光イメージング技術の最前線
9月22日 (月)	4. THz波によるイメージング技術
9月29日 (月)	5. 非線形光学顕微鏡による生体計測

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：可視～近赤外画像を活用した食の安全技術



可視～近赤外カメラと画像処理を組み合わせることで、食品中の異物や包装材料の欠陥を簡便に検出・可視化する技術について紹介します。このコマでは、我々が開発した検査システムを例に、その原理と応用事例を解説します。

コマ2：AIを用いた異物検査システム



AIとは「何を学習するのか?」「人間とどこが違うのか?」について説明し、特に深層学習の仕組みを高校数学の知識があれば理解できるように説明します。また、産業分野への応用例として、我々が開発した異物検査システムを紹介します。

コマ3：高感度光センシング・高分解能光イメージング技術の最前線



近年、ナノメートル領域の光科学に立脚した高感度光センシング・高分解能光イメージング技術が注目を集めています。このコマでは、ナノ光学技術の基本原則と工業・医療応用について事例を交えながら概説します。

コマ4：THz波によるイメージング技術

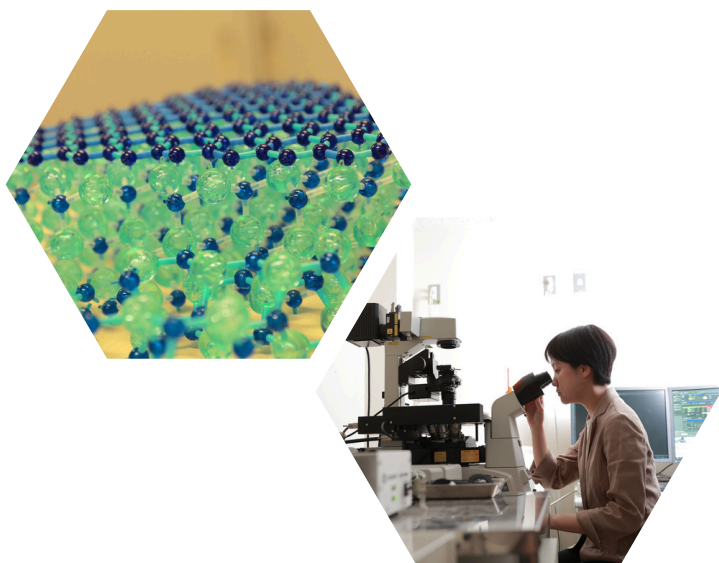


光と電波の境界域であるTHz波に対する物質の応答特性は、我々の馴染みある可視領域のそれとは大きく異なるので、セキュリティから農水産分野まで一風変わった利用が提案されています。ここでは計測・イメージング技術の事例について、原理と合わせて解説し、事例をもとに分かりやすく紹介します。

コマ5：非線形光学顕微鏡による生体計測



強いレーザーパルスを物質に作用させると、物質は通常光とは異なる反応を示します。この現象を利用して、通常の顕微鏡では得られない物質の情報を得る非線形光学顕微鏡を紹介し、その応用の一つとして生体計測事例を示します。



*Zoomによるオンライン講義

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座9

建設インフラDX講座 ーGISとBIM/CIMー



到達目標

- ①GISの考え方、最新事例を理解する。
- ②GISソフトを用いて分布図、主題図を作成する手法を理解する。
- ③歴史地理学へのGISの応用事例を理解する。
- ④建設業におけるBIM/CIM、インフラDXへの理解を深める。
- ⑤BIM/CIMで用いられるデータの種類、扱い方について理解する。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 15時間

受講料

*コマ受講可能です。

15,000円

*受講にはWindowsPC（OS10以降）が必要です

講座紹介

建設分野では、企画や計画、設計、施工、維持管理など、様々な段階でIT化が進んでいます。この講座では、GIS分野、歴史地理学分野、BIM/CIM分野に分かれます。建設業におけるGISとBIM/CIMの基礎知識やインフラDXの動向、スマートシティへの展開も含めた最新事例の紹介などを行います。まず、GISの基本的な考え方を理解した上で、フリーウェアのGISソフトを用いて、空間データ、統計データを分布図で表示する方法を学びます。歴史地理学分野では、GISの特性を活かした歴史情報の可視化に関する応用例の紹介と、GIS専用ソフトを使えない環境でのGISデータの利用法を解説します。BIM/CIM分野では、デジタル技術を活用した建設業のDX化の動向、オープンデータを用いた設計、施工に関連する、具体的な解析を学びます。

全体を通じて、講師による講義・演習による内容の理解に加え、最新事例の紹介や受講生との議論を通じて、受講生が抱える課題解決に役立つような講座にしたいと考えております。

担当講師

コマ1～コマ3

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授
渡辺 公次郎

コマ3

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授
夏目 宗幸

コマ4～コマ5

四国建設コンサルタント（株） DX推進課 主幹
太田 亮

講座プログラム

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 9月19日（金） | 1. GISの考え方 |
| 9月26日（金） | 2. GISを用いたデータ処理 |
| 10月 3日（金） | 3. GISの応用 |
| 10月10日（金） | 4. 建設業界におけるBIM/CIM、インフラDXの動向 |
| 10月17日（金） | 5. オープンデータ等による3次元データの取扱い |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：GISの考え方

まずは、GISの意味、図形データ処理や位置情報処理の考え方を学び、フリーウェアのGISソフトであるQGISをダウンロードし、インストールを行います。次に、オープンデータをダウンロードし、QGISを用いて図化するまでを行います。

コマ2：GISを用いたデータ処理

QGISを用いて、主題図作成までを行います。地形や区域、施設位置などに関するオープンデータをダウンロードし、統計データと組み合わせて主題図を作成します。施設の分布、区域指定、人口分布、地形など色々なデータを用いて、2次元の主題図を作成します。

コマ3：GISの応用

前半では、QGISを用いて、Plateauなどのオープンデータを用いた3次元の主題図作成、GISやBIM/CIMの応用例であるスマートシティの解説を行います。後半では、歴史地理学へのGISの応用例を紹介します。また、GIS専用ソフトを使わない場合におけるGISデータの利用法について解説します。

コマ4：建設業界におけるBIM/CIM、インフラDXの動向

建設業界では、生産性向上を目的にUAVによる地形データの取得、設計・施工データの3次元化（BIM/CIM）等のインフラDXの活用に取り組んでいます。デジタル技術を全面的に活用するという、これまでとは異なる建設業の変革について、その動向と業界で求められる技術について講義を行います。

コマ5：オープンデータ等による3次元データの取扱い

設計や施工のデータの一部は、国土交通省等から様々なファイル形式で、オープンデータとして公開されています。これらオープンデータから、設計、施工等の3次元データを取得するほか、測量機器やスマートフォンを用いて点群を取得し、それらデータの取り扱い方法について操作を行います。



徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座10

ゼロから学び仕事に 活かせる3D-CAD講座

到達目標

- ①3D-CADの基本的な知識やモデルの作成方法について習得する。
- ②モデルを用いた組み立てや、より複雑なモデルの作成方法について習得する。
- ③作成したモデルを構造解析等、ほかの目的に活用できることを理解する。
- ④3Dプリンタの製作原理と3次元CADデータからの製作方法について理解する。
- ⑤実際の部品等についてのモデリングと3Dプリンタでの製作を行えるようにする。

習得に必要な時間

コマ数：7コマ 21時間

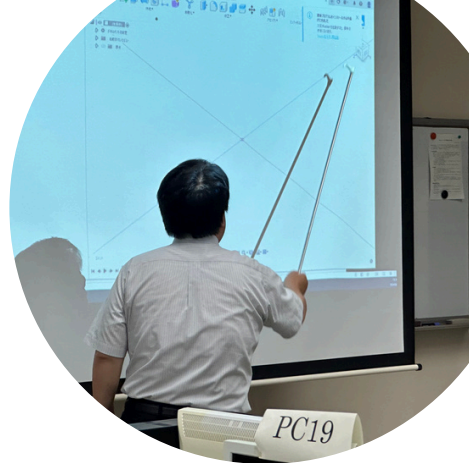
受講料

*コマ受講可能です。

21,000円

別途 ライセンス料 (12,100円) が必要です。

*受講にはWindowsPC (OS10以降) が必要です



講座紹介

この講座は、3D-CADの初心者を対象として、3D-CADに関する知識と技術を、実際のソフトウェア(Autodesk Fusion)を用いて習得するものです。コンピュータ上での基本的な物体(モデル)の作成方法や複数のモデルを組み合わせるアセンブルの方法のほか、複雑な形状の作成方法や、モデルの形状データを用いた構造解析、レンダリング、アニメーション等の手法についても解説します。また、3Dプリンタの種類や原理、特徴についても説明し、3D-CADで作成したモデルを、3Dプリンタで実際のものとして作成することで、最先端のモノづくり手法を体験します。この講座によって、部品や製品のデジタル化とその活用について理解を深めることができます。

担当講師

コマ1～コマ7

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 講師
浮田 浩行

講座プログラム

- 9月24日(水) 1. 3D-CADの概要とAutodesk Fusionを用いた簡単なモデリング
- 10月 1日(水) 2. 基本的な形状のモデリング
- 10月 8日(水) 3. 複雑な形状のモデリングとアセンブリ
- 10月15日(水) 4. CADデータを用いた構造解析
- 10月22日(水) 5. 3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力
- 10月29日(水) 6. 様々な形状モデルの作成
- 11月 5日(水) 7. Autodesk Fusionの様々な機能の紹介、モデリング実習

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884

E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：3D-CADの概要とAUTODESK FUSIONを用いた簡単なモデリング

一般的な3D-CADの概要を説明し、実習で使用するAutodesk Fusionの特徴を解説します。また、ごく簡単なモデルの作成を行い、Autodesk Fusionの基本操作を習得します。さらに、Autodesk Fusionのライセンスやファイル操作等についても解説します。

コマ2：基本的な形状のモデリング

基本的な形状（押し出し、カット、回転、面取、フィレット等）のモデリング方法について実習も交えて説明します。また、画像を用いたスケッチやネジ穴等の特殊なフィーチャーの作成方法についても説明します。

コマ3：複雑な形状のモデリングとアセンブリ

複雑な形状（スイープ、ロフト、シェル、リブ等）のモデリング方法と複数の部品を用いたアセンブリについて説明します。さらに、アセンブリ時の部品間の干渉の確認や部品の修正等についても説明します。

コマ4：CADデータを用いた構造解析

作成したモデルについて構造解析を行う方法を説明します。Autodesk Fusionで扱える様々な解析手法について紹介するとともに、モデルの材質や形状を変更することで、どのように変形するかといったシミュレーションを行います。

コマ5：3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力

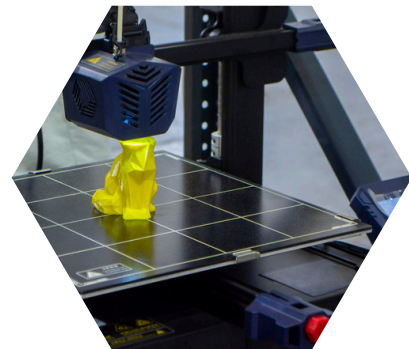
3Dプリンタの構造や仕組み等の基本的な内容についての説明を行い、具体的に3D-CADでモデリングした形状データを用いて3Dプリンタで作成する方法や、3Dスキャナによるデータ化について説明します。また、モデルを3Dプリンタで作成し、解析通りの結果が得られるかどうかの検証を行います。

コマ6：様々な形状モデルの作成

Autodesk Fusionで扱えるモデルとして、サーフェス、メッシュ、シートメタルの作成について説明します。また、3Dスキャナによって得られるこれらの形状データの扱い方や、相互にデータを変換する方法等についても解説します。

コマ7：AUTODESK FUSIONの様々な機能の紹介、モデリング実習

Autodesk Fusionにて、作成したモデルを活用するレンダリングやアニメーションの機能、また、PCB製作やジェネレーティブデザイン等の様々な製作例を紹介します。また、具体的な部品の図面からのモデリング実習を行います。



徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座11

RASPBERRY PIを 使って学ぶロボット プログラミング講座



到達目標

- ①ロボットの機構、電装、制御に関する基礎知識を習得する。
- ②ロボット制御のためのコンピューターを用いた信号入出力プログラムを作成できる。
- ③フィードバック制御の基礎知識を習得し、モータを制御できる。
- ④ロボットの制御プログラムを実装できる。

習得に必要な時間

コマ数：8コマ 24時間

受講料

*コマ受講可能です。

50,000円

*製作部品費 26,000円を含みます

講座紹介

ロボット技術はあらゆる産業分野への導入が進められていますが、ロボットは多くの要素技術をシステムとして統合したもので、ロボットの仕組みを理解するのは簡単ではありません。実際のロボット開発には、機構設計、部品選定、電装設計、プログラミング環境の構築、アルゴリズム考察、プログラミングなど多くの工程が必要です。これらの作業には多くの時間と労力、コストを必要とします。

この講座では、ロボットの基礎技術であるモーションコントロールの概要とその要素技術として基本的なアクチュエータとセンサの構造や使用法について解説します。また、安価な小型コンピューターを利用したロボット製作実習を通してロボットの制御プログラム製作の実習を行い、実際にアーム型ロボットの制御を行います。さらに、ロボットの導入が加速している介護・福祉分野や農業分野におけるロボット開発事例についても紹介します。

担当講師

コマ1～コマ8

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 講師
鈴木 浩司

講座プログラム

- 10月23日(木) 1. ロボットの基礎技術
- 10月30日(木) 2. マイクロコントローラとロボットの機構
- 11月 6日(木) 3. Raspberry Piの初期設定とGPIO制御
- 11月13日(木) 4. 電圧の計測とセンサICとの通信
- 11月27日(木) 5. PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御
- 12月 4日(木) 6. フィードバック制御によるモータの角度制御
- 12月11日(木) 7. RCサーボモータの制御とアーム型ロボット
- 12月18日(木) 8. 発展課題と大学でのロボット研究紹介

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：ロボットの基礎技術

ロボットの基礎技術であるモーションコントロールシステムと、その構成要素であるアクチュエータとして主に電磁アクチュエータと、各種センサ（位置、速度、力覚、距離等）について学習します。また、ロボットの制御器の基礎とフィードバック制御系の概要を学習します。

コマ2：マイクロコントローラとロボットの機構

ロボットの制御に用いられるマイクロコントローラの基礎知識としてその種類、プログラミング言語、開発環境について解説します。さらに、ロボットの機構として、ロボットアームの種別や移動機構（車輪式、クローラ式、脚式）について学習します。

コマ3：RASPBERY PIの初期設定とGPIO制御

ロボット製作実習で使用するコンピューター（Raspberry Pi）の概要を学習し、OS（Raspberry Pi OS）のセットアップ、アップデート等の初期設定を行います。実習で用いるLinuxコマンド、Python言語について学習し、Python言語を用いた基礎的なGPIO（General Purpose Input/Output）制御プログラムについて学習します。

コマ4：電圧の計測とセンサICとの通信

コンピューターでアナログ電圧を測定するため、ADコンバータのICの仕組みと、様々なセンサとRaspberry Piとの通信に用いられるSPI通信について学習します。アナログ電圧の測定として、ボリュームの角度検知、ジョイスティックの入力検出、測距センサによる距離測定の実習を行います。

コマ5：PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御

コンピューターによる電圧制御としてPWM（Pulse Width Modulation）と直流モータを駆動するためのHブリッジ回路とモータドライバICについて学習します。Raspberry PiのGPIO制御ライブラリであるpigpioを用いたPWMによるLEDの調光、直流モータの速度制御、回転方向制御を実習します。

コマ6：フィードバック制御によるモータの角度制御

基礎的なフィードバック制御としてPID制御の仕組みとフィードバックゲイン設計法について学習し、直流モータとポテンシオメータによる角度測定を組み合わせた回転核のフィードバック制御を実習します。PID制御器のゲイン設定によりモータの角度制御特性が変化することを確認します。

コマ7：RCサーボモータの制御とアーム型ロボット

角度フィードバック制御器を内蔵したRCサーボモータの利用法を学び、PWM信号によりRCサーボモータを任意の角度に制御可能であることを確認します。ジョイスティックによりRCサーボモータを複数用いたアーム型ロボットを制御するプログラムを作成します。

コマ8：発展課題と大学でのロボット研究紹介

アーム型ロボットの発展課題として、USBカメラ、ネットワーク等を組み合わせた遠隔操作監視カメラのプログラムを紹介し、大学におけるロボット研究として、介護・福祉ロボット、農業用ロボットなどについて学習します。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座12

基礎から始める AIエンジニア育成講座

到達目標

- ①生成AIの背景にある考え方を理解し、部下などに説明できるようになる。
- ②画像判定AIの基礎と、課題解決のために応用する技術を身につける。
- ③言語生成AIの基礎と、課題解決のために応用する技術を身につける。
- ④生成AIを発展的に活用する視点、また率先して応用していくことのできる技能を身につけ、部下などの指導も行えるようになる。

習得に必要な時間

コマ数：7コマ 21時間

受講料

*コマ受講可能です。

21,000円

*受講にはWindowsPC（OS10以降）が必要です



講座紹介

生成AIは、写真・絵画、あるいは人間の言葉をほぼ人間と同じレベルで認識し、生成することができます。こうした技術の背景には、コンピューターが大量のデータを効率的に処理分析できるようになり、データに基づく知識をAIが蓄積できるようになった技術開発があります。

すでに生成AIを組み込んだ社会サービスも多く提供されています。それらは日常の用途にはある程度十分な機能を備えていますが、生成AIの本領は、個人あるいは会社組織が、独自の情報・データをAIに与え、より応用的な性能を発揮できるよう拡張できることにあります。

この講座では、講義と演習を通して、生成AIが成立した背景、考え方と技術の基礎、さらには拡張をするために必要なプログラミング技術を学びます。AIに関する知識や経験は問いませんが、日常業務でパソコンを使用しておりファイル操作、ソフトウェア操作、インターネット利用、メールの送受信など基本的な操作の可能な方を対象とします。なお、コマ5からは、ChatGPTやGeminiなどのAIサービスを使いますが、講座では一部有料版（サブスクリプション契約版）でのみ利用可能な機能について紹介することがあります。

担当講師

コマ1～コマ4

徳島大学 デザイン型AI教育研究センター 特任助教
鳥井 浩平

コマ5～コマ7

徳島大学 デザイン型AI教育研究センター 教授
石田 基広

講座プログラム

- | | |
|-----------|------------------------|
| 12月 2日（火） | 1. AIの基礎 |
| 12月 9日（火） | 2. Pythonのプログラミングと画像処理 |
| 12月16日（火） | 3. 物体認識AIをつくる |
| 12月23日（火） | 4. 物体認識アプリをつくる |
| 1月 6日（火） | 5. 言語生成AIをまなぶ |
| 1月13日（火） | 6. 言語生成AIを拡張する |
| 1月20日（火） | 7. 言語生成AIに追加の情報を与える |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：AIの基礎

AIの歴史とともに、AIの種類や特徴、考え方について学びます。また、AI開発に必要不可欠な基礎的知識・技術について学びます。現代社会におけるAIとの付き合い方について論理的に考えることができるようになり、生成AIのメリット・デメリットについて学ぶことができます。

コマ2：PYTHONのプログラミングと画像処理

AI開発で大人気のプログラミング言語Pythonの基本的な使い方について学びます。また、Pythonを用いた簡単な画像処理に挑戦し、プログラミングにおける画像の扱い方について学びます。AIを構築・理解するために必要なプログラミング技術を習得することができます。

コマ3：物体認識AIをつくる

画像AIの基本となる物体認識（画像に写る物体を識別する）AIの構築と学習を行います。また、AIの精度を適切に評価するための手法・技術を学びます。結果やデータの流れが比較的わかりやすい物体認識AIのプログラミングを行うことで、AIに関する知識をより深めることができます。

コマ4：物体認識アプリをつくる

物体認識AIを使って、ドラッグ＆ドロップで入力した画像に対して物体認識を行うアプリを製作します。アプリを製作する楽しさを体験することができ、より具体的なAIの社会実装イメージを掴むことができます。また、AIの応用・運用方法について考える力を身に付けることができます。

コマ5：言語生成AIをまなぶ

OpenAI社のChatGPTやGoogle社のGeminiに代表されるAIチャットボットが注目されています。これらのAIチャットボットでは、言語生成AIという技術が使われています。このコマからは、言葉を生成するAIの活用可能性を学んでいきます。最初に、言葉をコンピューターで処理する方法、考え方、技術を概観します。次に、その発展形である言語生成AIの現状を考察します。

コマ6：言語生成AIを拡張する

インターネットなどに公開されている文書を学んだAIチャットボットに、最新情報を検索させる、あるいは指定した文書を追加で学ぶ方法を学びます。これにより、会社の資料や個人のメモ書きなどから、チャットボットを使って対話形式で必要となる情報を引き出すことができるようになります。

コマ7：言語生成AIに追加の情報を与える

AIチャットサービスに、画像やPDFファイルを与えて、その中身を解析させる方法について学びます。これにより、フォーマットの異なる領収書などを、会社独自のフォーマットで統一して保存することが可能になります。また、Microsoftが提供するAzure AI サービスについて紹介します。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座13

優良企業の知恵を 現地で学ぶ ベンチマーク視察

到達目標

①自社の経営課題解決のための方法をベンチマーク視察から学ぶ。

②ベンチマーク視察での学習を自社に落とし込むことにより、自社の人材育成、組織づくりの改革につなげる。

③異業種の人達と交流を持ち、個人のスキルを向上させるとともにお互いの企業のグレードアップをはかる。

習得に必要な時間

コマ数：2コマ 6時間

＊移動の時間は含みません。

受講料

6,000円

＊別途バス代が必要です。



講座紹介

西精工（株）と（株）日新は、徳島県で地域に根ざし、全国に向けた高品質な製品を提供する企業です。西精工（株）は1925年に創業し、1947年よりナットと割ピンの製造を開始。特にナットは、産業の多様な分野で使用される重要な部品であり、精度、強度、干渉の回避など、厳しい条件を満たす技術力が求められます。多品種小ロット生産を支えるため、自社で加工機械の開発にも取り組み、品質を常に維持しています。一方、（株）日新 四国工場は、四国唯一の合板工場として2011年に操業開始。地域の木材資源を活用した合板は高い強度と耐震性を誇り、建築材料として広く使用されています。また、製造過程で発生する端材はバイオマスボイラーに利用され、環境に配慮した持続可能な生産が行われています。両社は、技術革新、環境への配慮、人材育成を重視し、社会貢献を続けています。

講座プログラム

9月25日（木） 1. 西精工株式会社 土成第一工場

2月17日（火） 2. 株式会社日新 四国工場

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：西精工株式会社 土成第一工場

西精工（株）は1925年に創業し、1947年に機械要素の一つであるナットと割ピンの製造を開始しました。特にナットは産業のあらゆる分野に使用されており、その使い道によっては様々な大きさや重量、寸法形状を有しています。構造その物は単純なように見えて、強度はどうか、緩むことはないか、精度はどうか、あるいは使用する場所によっては他の部品との干渉なども考慮に入れる必要もあります。しかも、多品種小ロット生産するため一律に高品質が常に保たれる必要があり、材料の選択から加工技術、旋削技術などあらゆる技術が求められます。これらあらゆる条件を満たすために、自社で加工機械までも開発していると聞きます。人を大切にしながら、多品種・高性能の特殊ナットの技術を徳島の地から世界に届け、社会に貢献している企業です。

コマ2：株式会社日新 四国工場

（株）日新 四国工場は、5番目の工場として2011年4月に小松島市で操業を開始しました。地域の木材資源を活用した「合板」は高い強度と耐震性の持ち合わせ、用途に合わせて豊富な種類が製造され、建築材料として様々な場所で使用されています。原材料である原木の調達、合板の製造、出荷と言う流れの中で、製造工程はさらに4工程に分かれ大型機械の導入とコンピューター制御による自動化で高品質、安定供給に対応しています。製造工程で発生する端材、皮（バーク）は自工場のバイオマスボイラーの燃料として、蒸気や温水の熱源に無駄なく利用されています。合板の原材料である原木は伐採後、植林することにより再生可能な資源となります。さらに、コンクリートや鉄を使用するより、4倍の炭素を貯蔵して「第二の森林」と呼ばれているほど地球に優しい材料です。



徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



令和7年度

「とくしまビジネスリスティングスクール」料金表

* 講座1～4は、コマ受講には対応していません。

講座名	日程	講義内容	時間	全コマ受講
講座1 エンゲージメント マネジメント講座	7月4日（金）	1. いい企業になるための100の指標	4時間	36,000円
	7月28日（月）	2. エンゲージメントマネジメントによる社員定着率100%「奇跡の会社」	4時間	
	9月5日（金）	3. 人生の素晴らしさを分かち合う経営を目指して / 寄り添いの経営	4時間	
	10月20日（月）	4. ベンチマーク視察	4時間	
	11月13日（木）	5. ベンチマーク視察の学びについての振り返り、成果発表	5.5時間	
講座2 人を大切にする 経営学講座	10月6日（月）	1. 時代が求める企業経営のあり方・進め方	4時間	36,000円
	11月28日（金）	2. 人を大切にする経営	4時間	
	12月5日（金）	3. ベンチマーク視察	4時間	
	1月29日（木）	4. 萩原工業の人を大切にする経営 / 衣料から医療への挑戦「下町ロケット2〜"リアル"ガウディ計画〜」	4時間	
	2月12日（木）	5. ベンチマーク視察の学びについての振り返り、成果発表	5.5時間	
講座3 人的資本経営を 深化させる マーケティング戦略講座	8月25日（月）	1. モノづくりは人づくり	4時間	32,000円
	9月12日（金）	2. 事業承継による経営戦略の変化	4時間	
	10月27日（月）	3. 自社の市場分析と成長戦略の構築	4時間	
	11月17日（月）	4. 環境変化による戦略の選択	4時間	
	12月12日（金）	5. 学びについての振り返り、成果発表	5.5時間	
講座4 労務管理のための ビジネス コミュニケーション講座	10月9日（木）	1. 心理的安全性を高める組織づくり	4時間	32,000円
	11月14日（金）	2. 組織づくりに活かすコミュニケーション	4時間	
	12月19日（金）	3. 人を大切にするためのコミュニケーション（1）	4時間	
	1月30日（金）	4. 人を大切にするためのコミュニケーション（2）	4時間	
	2月20日（金）	5. 人を大切にするためのセルフケア	5.5時間	

* 講座5～12は、コマ受講に対応しています。

講座名	日程	講義内容	時間	受講料	全コマ受講
講座5 基礎と実践スキルを 学ぶDX入門講座	7月4日（金）	1. ゼロから学ぶ企業DXと社内での推進方法	3時間	3,000円	18,000円
	7月11日（金）	2. AIによる文書管理	3時間	3,000円	
	7月18日（金）	3. 業務分析とRPA	3時間	3,000円	
	7月25日（金）	4. IT化+DX推進による自社事業構造の転換	3時間	3,000円	
	8月1日（金）	5. スモールスタートから始める進化を止めないDX推進事例	3時間	3,000円	
	8月22日（金）	6. 企画の仕事	3時間	3,000円	
講座6 次世代リーダー育成と TPS実践のための 生産管理講座	7月10日（木）	1. トヨタ生産方式の基本的な考え方	3時間	3,000円	18,000円
	7月17日（木）	2. トヨタ生産方式（標準作業）	3時間	3,000円	
	7月24日（木）	3. トヨタ生産方式（標準作業と改善）	3時間	3,000円	
	7月31日（木）	4. 顧客の信頼が支えるものづくり組織の活性化と成長	3時間	3,000円	
	8月7日（木）	5. リーダシップの育成とマネジメント	3時間	3,000円	
	8月18日（月）	6. 企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上	3時間	3,000円	

* 講座5～12は、コマ受講に対応しています。

講座名	日程	講義内容	時間	受講料	全コマ受講
講座7 海外ビジネスと 商品企画・開発のための マーケティング講座	8月5日（火）	1. ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス	3時間	3,000円	15,000円
	8月19日（火）	2. マーケティング発想を柱とする経営	3時間	3,000円	
	8月29日（金）	3. マーケティング活動の基礎：STPと4P	3時間	3,000円	
	9月2日（火）	4. 商品企画とコンセプト	3時間	3,000円	
	9月9日（火）	5. 事業システムによる競争優位	3時間	3,000円	
講座8 光による先端センシング ・画像計測技術講座	9月1日（月）	1. 可視～近赤外画像を活用した食の安全技術	1.5時間	1,500円	7,500円
	9月8日（月）	2. AIを用いた異物検査システム	1.5時間	1,500円	
	9月18日（木）	3. 高感度光センシング・高分解能光イメージング技術の最前線	1.5時間	1,500円	
	9月22日（月）	4. THz波によるイメージング技術	1.5時間	1,500円	
	9月29日（月）	5. 非線形光学顕微鏡による生体計測	1.5時間	1,500円	
講座9 建設インフラDX講座 －GISとBIM/CIM－	9月19日（金）	1. GISの考え方	3時間	3,000円	15,000円
	9月26日（金）	2. GISを用いたデータ処理	3時間	3,000円	
	10月3日（金）	3. GISの応用	3時間	3,000円	
	10月10日（金）	4. 建設業界におけるBIM/CIM、インフラDXの動向	3時間	3,000円	
	10月17日（金）	5. オープンデータ等による3次元データの取扱い	3時間	3,000円	
講座10 ゼロから学び仕事に 活かせる3D-CAD講座	9月24日（水）	1. 3D-CADの概要とAutodesk Fusionを用いた簡単なモデリング	3時間	3,000円	21,000円
	10月1日（水）	2. 基本的な形状のモデリング	3時間	3,000円	
	10月8日（水）	3. 複雑な形状のモデリングとアセンブリ	3時間	3,000円	
	10月15日（水）	4. CADデータを用いた構造解析	3時間	3,000円	
	10月22日（水）	5. 3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力	3時間	3,000円	
	10月29日（水）	6. 様々な形状モデルの作成	3時間	3,000円	
	11月5日（水）	7. Autodesk Fusionの様々な機能の紹介、モデリング実習	3時間	3,000円	
講座11 Raspberry Piを使って 学ぶロボット プログラミング講座	10月23日（木）	1. ロボットの基礎技術	3時間	3,000円	50,000円 （製作部品 費含む）
	10月30日（木）	2. マイクロコントローラとロボットの機構	3時間	3,000円	
	11月6日（木）	3. Raspberry Piの初期設定とGPIO制御	3時間	3,000円	
	11月13日（木）	4. 電圧の計測とセンサICとの通信	3時間	3,000円	
	11月27日（木）	5. PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御	3時間	3,000円	
	12月4日（木）	6. フィードバック制御によるモータの角度制御	3時間	3,000円	
	12月11日（木）	7. RCサーボモータの制御とアーム型ロボット	3時間	3,000円	
	12月18日（木）	8. 発展課題と大学でのロボット研究紹介	3時間	3,000円	
講座12 基礎から始めるAI エンジニア育成講座	12月2日（火）	1. AIの基礎	3時間	3,000円	21,000円
	12月9日（火）	2. Pythonのプログラミングと画像処理	3時間	3,000円	
	12月16日（火）	3. 物体認識AIをつくる	3時間	3,000円	
	12月23日（火）	4. 物体認識アプリをつくる	3時間	3,000円	
	1月6日（火）	5. 言語生成AIをまなぶ	3時間	3,000円	
	1月13日（火）	6. 言語生成AIを拡張する	3時間	3,000円	
	1月20日（火）	7. 言語生成AIに追加の情報を与える	3時間	3,000円	

ベンチマーク視察

講座名	日程	講義内容	時間	受講料
講座13	9月25日（木）	1. 西精工株式会社 土成第一工場	3時間	3,000円
ベンチマーク視察	2月17日（火）	2. 株式会社日新 四国工業	3時間	3,000円

INFORMATION

講座ご利用案内

ビジネスマイスター

講座1～4のうち、受講時間の合計が60時間以上となる3講座を修了し、かつ、ベンチマーク視察を2回以上受講した場合に称号を付与します。

テクノマイスター

講座5～12のうち、受講時間の合計が60時間以上となる3講座を修了し、かつ、ベンチマーク視察を2回以上受講した場合に称号を付与します。

受講料

料金表および各ページをご参照ください。

お申し込み

徳島大学 人と地域共創センター



とくしまビジネス
リスティングスクール
はこちらから

講義は基本、対面講義

一部、Zoomによるオンライン講義がございます。



Zoomによる
オンライン講義

各種補助金

*「徳島市中小企業等人材確保・育成支援事業補助金」の対象研修です。

*「人材開発支援助成金（事業展開等リスティング支援コース）」の対象研修です。

修了証書授与条件

それぞれの講座ごとに、全コマ受講した場合は、講座の修了証書を授与します。
(ベンチマーク視察を除く)



MAP



人と地域共創センター

国立大学法人徳島大学
人と地域共創センター

〒770-8502
徳島市南常三島町1丁目1番地
TEL. 088-656-9884
FAX. 088-656-9313
Mail: reskilling@tokushima-u.ac.jp

